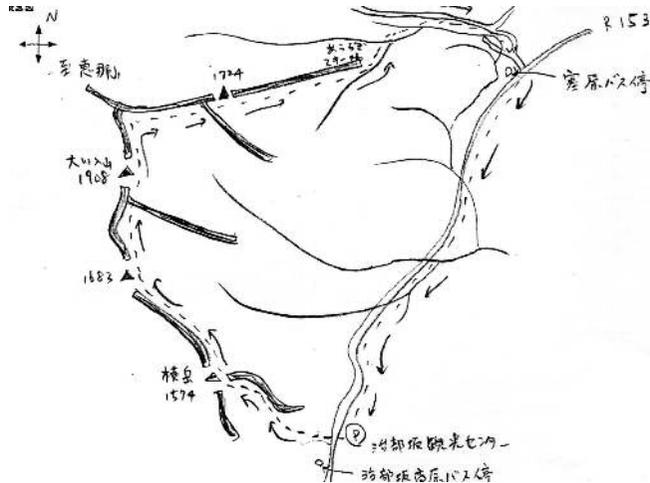


大川入山

雪山前に下見しておこう・・・ん？

2016年11月24日

L: 齋藤



アクセス

R153 沿いの治部坂高原バス停前にある大きな駐車場に駐車。トイレ無し。

11月24日(木)

思うように自分だけの休みが取れず、このままだと山を忘れてしまうのでは？と不安に駆られ、無理矢理代休を取った。

今後も土日は仕事だろうから、平日に近場でさっさと行けて、少しでも雪を楽しめそうな山の下見として、大川入山を選んだ。

雨降る浜松を夜中2時に出発。「ああ、雨登山かぁ」と気を落としながら平谷付近まで車を走らせていると、フロントガラスをたたく雨は、だんだんと重みがつ

いてきて、それは、みぞれに変わり、数分後には雪となった。

強い寒気が入り、54年ぶりに都心積雪か？なんて言っていたが、予想外な事がここでも起こっていた。11月で治部坂近辺の道路までも真っ白だとは。



雪がとっても綺麗 ※治部坂です

積雪でよくわからないが、駐車場と思われる所に駐車し、付近を歩き回る。積雪 3~6cm くらいか。降雪はあるだろうと予想はしていたが、まさか積もっているとは。冬靴もないし、アイゼンもピッケルもないけど登れるの?と悩んだが、せっかくだから、余り気負わず気楽に行けるとこまで行こうと決めた。面倒くさいので、歩荷水 9kg も降ろさず 18kg ザックのまま登山開始。

登山口で既に靴紐まで被るくらいの積雪。普通の登山靴が、足をどこまで保護してくれるのかを知るのにも丁度良い。



楽しい登山になりそうです



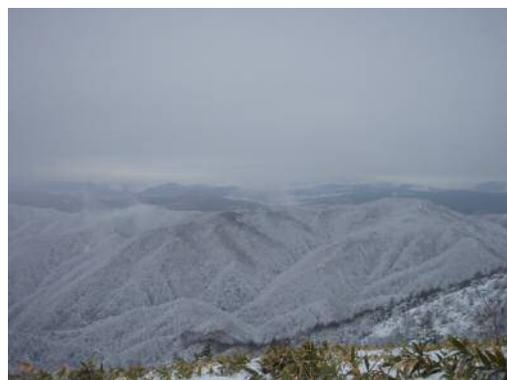
トレースー番乗り

道中、固定ロープが張られた箇所があ

り、多少気を使って登ったが、それ以外は特に危険はなく、良いペースだったので、問題がなければそのまま山頂まで行けるなあと踏んだ。積雪量は 10~13cm ほど。山頂手前 1km 付近からは深いところで 30~35cm くらいだった。夏用のゲイターを装着して登ったが、冷えのせいか何度もゴムバンドが外れるので、邪魔くさいのでバンドを取ってしまった。それでも雪の侵入を防ぐ効果はあったと思う。



山頂到着。阿智セブンサミット2つ目ゲット



西側に見える山々も雪化粧

登頂後は、そのまま北東に抜け、あららぎスキー場下山する予定であったが、山の北側というのは、なんとなく雪が固

くて滑り易いイメージがあり、また未踏域でどんな尾根かわからないルートでピッケル無しで下っていくのは如何なものかと思い、大事を取ってピストンすることにした。

復路は知っている道だけに歩きの面白味には欠けるが、その分、周りを見ることが出来る。どこを見てもうっとりする景色。もっと雪の中を歩いていたら良かったが、歩いていればいつかは登山口に戻ってしまう。

今回は予定外の初ソロ雪山登山となり、また、冬靴、ピッケル、アイゼン無しという貴重な体験もできた。この中でどれが一番欲しいか？と尋ねられたら、真っ先にピッケルと答えただろう山行だった。



立派な霧氷



雪のアーチ。今回のマイベスト



1600m 付近でラーメン休憩



駐車場着。まだ雪が降っています・・・

<タイム>

治部坂 P(5:44)-登山口(5:58)-横岳(7:11)-大川入山(9:08)-横岳(11:17)-登山口(12:03)-治部坂 P(12:18)

(齋藤 記)